繁二郎話

その二

あるとき繁二郎は、だんなさんの家さ行って、
「米一俵貸してください」
って言ったど。そこでだんなのカカが倉庫さ繁二郎を連れていくと、繁二郎は、カカどこ引張って、いいことしてしまったど。
それからしばらくしてしまってから、だんなが繁二郎さ、
「あのどぎ貸した米返せ」
って言ったど、そしたけ繁二郎は、そばに居ただんなのカガさ、
「それだっけ、返したじゃなぁ」
って言ったど。カカも仕方なくて、
「返してもらった」
って返事したど。そして繁二郎は、米一俵もうけだど。